

第24期事業計画（2023年7月～2024年6月）

今日、樹林地・農地・地域コミュニティ・伝統文化などの担い手不足、雑木林におけるナラ枯れ被害の拡大、子どもたちの体験の貧困や格差など、里山にかかわる環境課題・社会課題は山積している。これらの課題は、定款上の目的に掲げている「地域ごとに個性ある持続可能なコミュニティづくり」を進めていくとき、おのずと解決していくであろう。環境保全、教育・福祉、貧困・格差、まちづくりなど、多様なテーマと関連させつつ、広い視野を持って活動を展開することが求められる。

しかし、NORAの運営メンバーは固定化・高齢化してきており、内部の人材養成や他団体との協働・連携を計画的に進めていく必要がある。そのプロセスにおいて重視すべきは対話であり、他者との対話、自然との対話、自分との対話などを含む。話したいことを一方的に話すのではなく、聞くために耳をすませることを意識したい。

第24期は、下記4つの重点方針を掲げつつ、定例の自主活動（ヤマ・ノラ・ムラ・ハレ・イキモノ）をすすめることで、「根を持つことと翼をもつこと」を両立させていく。

①コーディネーターを中心とした「はまどま」活用の推進【ムラ】

「はまどま」が「街なかの里山の入り口」として活用しやすくなるように、コーディネーターが中心になって環境づくりやルールづくりを進めるほか、新しい参加者・担い手を増やすために、ニーズ調査、企画支援・コーディネート、情報発信に力を入れる。今期中に「はまどま」のホームページを立ち上げ、「はまどま」利用に興味のある潜在層に積極的に働きかけ、ニーズを把握しながら新規の企画・プロジェクトの立ち上げを支援していく。

②都市近郊における里山保全モデルづくり【ヤマ】

今期中に川井緑地において保全管理計画を見直し、森づくり活動に生態系管理の視点を明確に位置づける。また、グリーンウッドワークの普及にも努めながら、里山生態系の保全、発生材の有効利用、山仕事の担い手育成の点において、都市近郊における里山保全のモデルとなることを目指す。

③交流人口の増加による里山環境の再生モデルづくり【ノラ】

ノラ事業では、今日、深刻な社会問題となっている地域の里山・コミュニティの担い手不足に対して、「森と畑と音楽と」と「城山の里山サポーター」事業を通して、地域外からの支援、企業・学校等の参加などによって、里山環境を再生するモデルづくりをすすめる。

④新規事業の立ち上げと活動成果の発信を支援する助成制度の設計

新規事業の立ち上げや他団体との新たな協働・連携を促進するために、そうしたスタートアップを支援する制度を検討し、今期中に助成を開始する。また、これまで取り組んできた活動成果の情報発信を支援する制度についても、あわせて検討して助成を開始する。

自主事業

1. ヤマ事業

- 1) NORA の山仕事 {別紙計画書のとおり}
- 2) 竹を活かす山仕事 {別紙計画書のとおり}
- 3) よこはま里山レンジャーズ（連携：認定 NPO 法人自然環境復元協会） {別紙計画書のとおり}
- 4) 都市の里山の活用推進（令和 5 年度「緑の募金」公募事業） {別紙計画書のとおり}
- 5) 山道具の安全使用（連携：株式会社シンコー） {別紙計画書のとおり}
- 6) まちの近くで里山をいかすシゴトづくり
「里山とかかわる暮らし」と「里山をいかす仕事」の両立を求め、環境 NPO 運営スタッフ懇談会を定期開催し、バックオフィスの効率化とともに事業協同組合の可能性を探る。
- 7) 安全で楽しい森林づくり活動を指導できるリーダー養成事業
（主催：モリダス、令和 5 年度「緑と水の森林ファンド」）
モリダス主催事業と共催するかたちで人材育成事業を実施し、安全で楽しい里山保全・森林づくり活動を指導できる現場リーダーを養成するほか、横浜・多摩地域の活動団体のネットワークを強化する。

2. ノラ事業

- 1) 森と畑と音楽と {別紙計画書のとおり}
- 2) 城山里山サポーター（東京ガス「森里海をつなぐプロジェクト」）
地域の里山を守る人手が足りないときに気軽にお手伝いに行ける関係づくりのために、地域住民と一緒に里山を守るサポーターを募集し、自主的な活動も促しながら地域外との協働による里山再生のモデルづくりを進めていく。

3. ムラ事業

- 1) はまどまプロジェクト
 - (1) NORA 野菜市 {別紙計画書のとおり}
 - (2) もったいないから竹細工 {別紙計画書のとおり}
 - (3) はぶすばラボ {別紙計画書のとおり}
 - (4) はまどまで土間仕事 {別紙計画書のとおり}
 - (5) 『食べものの通信』読者会 {別紙計画書のとおり}
 - (6) はまどま諸々 {別紙計画書のとおり}
- ・心も体も元気に季節の薬膳食事会

2) 地域連携・ネットワーク

南区役所、宮宿花1・2丁目町内会、蒔田公園愛護会、フォーラム南太田、睦地域ケアプラザなど、蒔田地区周辺の公共機関・団体との連携を深める。また、横浜コミュニティカフェネットワークの一員として、ネットワーク活動に協力する。

4. ハレ事業

20周年記念事業として残っている「もったいないから竹細工」のプロジェクト紹介動画を制作する。また、新規プロジェクトの立ち上げを促し、25周年記念事業へと繋げる。

5. イキモノ事業

1) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

フォーラムの一員として森里川海と連携し、生物多様性保全に繋がる活動を実施する。

6. 広報事業

1) ウェブサイト更新・メールマガジン配信・SNSによる情報発信

ウェブサイトと連携しながら、定期的に「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を配信して、効果的に情報を発信する。また、SNSを利用して柔軟かつ迅速な情報発信に努め、特にストーリーやショート動画など、動きのある素材を有効に活用していく。

2) 活動報告書の作成

2023年の活動報告書を作成し、年末に年会費の依頼とともに会員に送付する。

協働・受託事業

適宜、社会のニーズに応じて協働・受託事業を進める。また、ボランティア体験、インターンシップの受入は、可能な限り引き受ける。

- ・森づくりボランティア体験事業業務（横浜市環境創造局みどりアップ推進課）
- ・保育所・小中学校等ビオトープ整備等指導業務（横浜市環境創造局みどりアップ推進課）
- ・森づくり安全管理研修・入門講座企画実施業務（横浜市環境創造局環境活動支援センター）
- ・里地里山入門講座企画実施業務（横浜市環境創造局農政推進課）
- ・長浜公園トンボ池管理等業務（横浜市緑の協会）
- ・根岸森林公園トンボ等調査（横浜市緑の協会）
- ・野島公園ビオトープ環境改善業務（横浜市緑の協会）
- ・トンボとり大作戦開催業務（横浜植木、横浜市緑の協会）

委員・講師派遣

行政・NPO・大学等からの求めに応じて、里山保全や市民活動等に関する委員・講師を派遣する。

■NORA 第 24 期プロジェクト計画書(2023 年 7 月～2024 年 6 月)

プロジェクト名	NORA の山仕事		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ(リーダーを除く)	中林博志、島村雅英		
目的 (箇条書きで記入)	・「利用する・繋ぐ森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくる ・森の恵みを様々なかたちで利用して、森とのかかわる暮らしを横浜で実践する		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	・ステップアップ研修へ、4 期生の誘致 ・資材管理の徹底 ・ウッドワークショップ定期開催実施への準備 ・次世代へ繋ぐ森づくりへの環境整備		
内容	常緑樹の除伐や下草刈、落葉樹苗の育苗から定植など、豊かな森づくりを目標に作業を行っている。除伐した材を有効活用するために、丸太を製材しスツールなどの木工品を製作したり、薪などにも利用したりしている。		
日時	定例:第 2・第 4 日曜日 やま守り編:不定期 実施時間 10:00～16:00		
場所	旭区下川井町 特別緑地保全地区		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	9:30 作業リーダー集合 ミーティングをおこない作業内容などを確認 10:00 一般参加者集合 作業リーダーの指示に従い、使用する道具の準備 10:30 現場にて作業開始 12:00 昼食 13:00 作業開始 15:00 作業終了 道具の整備、活動の振り返りと予定を確認 16:00 解散		
一般募集の有無	有:定員未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:グリーンボランティア保険加入料として @500 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費・寄付金収入 資材販売収入 県森林協会支援金 緑の募金 合 計	200,000 円 30,000 円 30,000 円 650,000 円 910,000 円	新治機械除草委託費
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	グリーンボランティア保険 委託費 消耗品費 資材費 ウッドワーク経費 合 計	120,000 円 120,000 円 70,000 円 40,000 円 560,000 円 910,000 円	(@6,000 円×20 回程度) (1 万円×12 か月) (燃料・工具修理等)
収支見込額(a-b)	0		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2022 年 8 月 7 日	作成者名	下山康博

■NORA 第 24 期プロジェクト計画書(2023 年 7 月～2024 年 6 月)

プロジェクト名	竹を活かす山仕事		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ(リーダーを除く)	三宅健也		
目的 (箇条書きで記入)	・畑や水源林である山々を侵食する竹林の手入れを行なう ・竹林整備を行なうことで、恵みある里山の生態系を維持する ・整備活動によって排出された竹材を有効活用する		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	・事業への継続的な参加者を募ると共に、運営を担えるスタッフを募る ・民有地の竹林整備を継続する ・良質な材を生産できる竹林を目標とし、整備を行う ・横浜市内で生産性を望める竹林を探す		
内容	南足柄郡中井町にある竹林において、竹の間伐作業を行う。 切り出した竹は、竹かごを編む為の竹ひご作りに用いたり、カトラリーを製作する材料として活用する。 ※8 月 9 月の間は、中井町での伐り出し作業は無し(7 月も検討中)		
日時	毎月第 3 日曜日 10:00～15:00		
場所	南足柄郡中井町		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	9:00 京浜急行 上大岡駅集合(10:00 セブンイレブン中井遠藤店) 10:30 現地到着 作業開始 12:00 昼休み 13:00 作業再開 14:00 作業終了 材の積み込み 15:00 現地解散		
一般募集の有無	有:定員未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:@500 円(中井集合)・1,000 円(上大岡集合)		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 @500×4 人×10 回=20,000 円 @1,000 円×4 人×10 回=40,000 円 収入計 60,000 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	交通費 22,600 円(@2,260×10 回) 燃料費 17,000 円(@1,700×10 回) 消耗品費 20,400 円 支出計 60,000 円		
収支見込額(a-b)	0		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2023 年 8 月 10 日	作成者名	下山康博

■NORA 第 24 期プロジェクト計画書(2023 年 7 月～2024 年 6 月)

プロジェクト名	よこはま里山レンジャーズ																																		
カテゴリー	ヤマ																																		
リーダー	島村雅英																																		
スタッフ (リーダーを除く)	よこはま里山レンジャーズプロジェクトメンバー(松村、下山、吉武、中林)																																		
目的 (箇条書きで記入)	・里山保全活動に新たなメンバーが加わり、環境活動団体の活性化を支援が図られる。 ・レンジャーズ活動が推進される。																																		
目標	・レンジャーズを延べ 10 回、里山等保全活動に派遣する。 ・活動をととして運営スタッフやレンジャーズリーダーとなりうる人材を育成する。																																		
内容	・レンジャーズ受け入れ団体となる環境活動団体と活動内容、日程の調整をおこない、レンジャーズ隊員を派遣する。 ・レンジャーズリーダーを育成する。 ・指定管理者などからの活動資金提供を模索する。 ・森づくりボランティア体験事業(横浜市)の参加案内をレンジャーズに発信する。																																		
日時	・レンジャーズ派遣:年間スケジュールのとおり (月 1 回程度) ・森づくりボランティア体験事業の案内発信:6 回																																		
場所	レンジャーズ派遣先:受け入れ団体活動場所(年間スケジュール参照)																																		
年間スケジュール	<table><tr><td>10/28 (土)</td><td>瀬上市民の森</td><td>瀬上さとやまの会の</td><td>ヤマアガエルが産卵する 湿地の草刈り</td></tr><tr><td>11/5 (日)</td><td>恩田の谷戸</td><td>恩田の谷戸ファンクラブ</td><td>収穫祭、脱穀・粃すり</td></tr><tr><td>11/23(祝)</td><td>谷矢部池公園</td><td>わかぎの会</td><td>樹林地整備</td></tr><tr><td>12/3 (日)</td><td>桜ヶ丘緑地</td><td>桜ヶ丘・水辺のある森再生 プロジェクト</td><td>里山保全</td></tr><tr><td>2/11(日)</td><td>瀬上市民の森</td><td>瀬上さとやまの会の</td><td>樹林地の除伐、間伐</td></tr><tr><td>活動調整</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>5 月</td><td>川井緑地</td><td>よこはま里山研究所</td><td>里山保全</td></tr><tr><td>6 月</td><td>元町公園ブール</td><td>横浜にとんぼを育てる会</td><td>トンボのヤゴ救出</td></tr></table>			10/28 (土)	瀬上市民の森	瀬上さとやまの会の	ヤマアガエルが産卵する 湿地の草刈り	11/5 (日)	恩田の谷戸	恩田の谷戸ファンクラブ	収穫祭、脱穀・粃すり	11/23(祝)	谷矢部池公園	わかぎの会	樹林地整備	12/3 (日)	桜ヶ丘緑地	桜ヶ丘・水辺のある森再生 プロジェクト	里山保全	2/11(日)	瀬上市民の森	瀬上さとやまの会の	樹林地の除伐、間伐	活動調整				5 月	川井緑地	よこはま里山研究所	里山保全	6 月	元町公園ブール	横浜にとんぼを育てる会	トンボのヤゴ救出
10/28 (土)	瀬上市民の森	瀬上さとやまの会の	ヤマアガエルが産卵する 湿地の草刈り																																
11/5 (日)	恩田の谷戸	恩田の谷戸ファンクラブ	収穫祭、脱穀・粃すり																																
11/23(祝)	谷矢部池公園	わかぎの会	樹林地整備																																
12/3 (日)	桜ヶ丘緑地	桜ヶ丘・水辺のある森再生 プロジェクト	里山保全																																
2/11(日)	瀬上市民の森	瀬上さとやまの会の	樹林地の除伐、間伐																																
活動調整																																			
5 月	川井緑地	よこはま里山研究所	里山保全																																
6 月	元町公園ブール	横浜にとんぼを育てる会	トンボのヤゴ救出																																
一般募集の有無	レンジャー登録を原則、1回あたり 10～20 人 レンジャーズ登録はメルマガ・HP、自然環境復元協会からの呼びかけ																																		
参加費の有無	無料																																		
収入見込額(a)	事業収入 <計>	60,000 円 60,000 円	森づくりボランティア体験事業から																																
支出見込額(b)	謝金 <計>	60,000 円 60,000 円	@10,000 円×6 回 リーダー派遣 (交通費含む)																																
収支見込額(a-b)	0 円																																		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)	レンジャーズ名簿管理:自然環境復元協会 受け入れ団体:恩田の谷戸ファンクラブ、瀬上さとやまの会の、桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト、わかぎの会、横浜にとんぼを育てる会																																		
作成年月日	2023 年 8 月 7 日	作成者名	島村雅英																																

■NORA 第 24 期プロジェクト計画書(2023 年 7 月～2024 年 6 月)

プロジェクト名	都市の里山の活用推進 (グリーンウッドワークショップ)		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	島村雅英		
スタッフ (リーダーを除く)	下山康博、中林博志、小西陽二		
目的 (箇条書きで記入)	・川井緑地等の活動で産出する間伐材や生育する植物資源等を有効活用することで、持続的な里山保全及びその活動が推進される。		
目標	・里山保全活動で産出した材の有効活用を図るための技術習得する ・ワークショップの開催により、活用方法の普及を図る。		
内容	①グリーンウッドワーク ワークショップの開催 有償のワークショップの開催 ②グリーンウッドワークショップ 自主活動 ワークショップ参加者による自主活動		
日時	ワークショップは第 4 日曜日の川井緑地定例活動日に開催。 自主活動は参加者が活動日を調整		
場所	川井緑地		
年間スケジュール	10 月～6 月 グリーンウッドワークワークショップ開催 全 8 回 9 月～6 月 グリーンウッドワーク 自主活動 不定期		
一般募集の有無	有: 定員未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	ワークショップ 参加費 4000 円を予定		
収入見込額(a)	緑の募金 参加費 <計>	510,000 円 160,000 円 670,000 円	@4000 円×5 人×8 回
支出見込額(b)	ワークショップチラシ作成 資機材費 講師経費(謝金、交通費) 講師交通費 その他諸経費 <計>	20,000 円 200,000 円 200,000 円 100,000 円 80,000 円 600,000 円	
収支見込額(a-b)	70,000 円		
備考(他団体との連携等を適当に記入)			
作成年月日	2023 年 8 月 7 日	作成者名	島村雅英

プロジェクト名	山道具の安全使用		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	中林博志		
スタッフ (リーダーを除く)	下山康博、島村雅英		
目的 (箇条書きで記入)	・環境に配慮し、より安全性を高めた緑地保全活動用の機材使用の啓発 ・環境と安全に配慮した機材物品類を販売・供給		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	・NORA 会員、関係する森づくり団体や山仕事の参加者などへ、バッテリーチェーンソーなど環境と安全に配慮した物品類を供給する。		
内容	目標に同じ		
日時	通年		
場所	ー		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	ー		
一般募集の有無	なし		
参加費の有無	なし		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、 合計も記入)	50,000 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、 合計も記入)	40, 000 円		
収支見込額(a-b)	10, 000 円		
備考(他団体との連携等を 適当に記入)	提携：株式会社シンコー		
作成年月日	2023 年 8 月 8 日	作成者名	中林博志

プロジェクト名	森と畑と音楽と		
カテゴリー	ノラ		
リーダー	中川 樺		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕農地を利用することで地域環境や農地を維持する。 ・参加者が一連の農作業を体験することで、作物を育て収穫する喜びを体感する。 ・常時作付けが可能なように土地を管理する。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者ではなく、準備運営に携わるスタッフの確保 ・マーケットやマルシェなど生産物の消費先(販路)の拡大 ・畑の効率的な利用方法の検討および実践 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農地管理(草刈り・草取り・耕耘) ・作物の育成(作付け・施肥・防虫管理・収穫) ・収穫体験の実施 ・活動場所で採れた野菜を使った料理 ・林産物や伐採樹木の活用 ・子ども向け環境教育の実施 ・音楽会の実施 ・クラフト全般(おもに木工。電動工具も使用) 		
日時	基本的に毎週日曜日 10:00～17:00 (土曜日活動になることもあり:要連絡)		
場所	厚木市七沢・伊勢原市日向		
年間スケジュール	7月 野菜収穫 草刈り 種まき 田んぼの草刈り 8月 夏野菜収穫 草刈り 畝作り 種まき・苗植え付け 水田草取り 9月 草取り 苗植え付け 種まき 10月 草刈り 草取り 収穫作業 稲刈り 12月上旬 収穫祭 11～2月 収穫作業 クラフト(伐採した木材等の活用) 2～3月 耕耘・クラフト・イベント出展・こども自然体験プログラム(川遊び・昼食作り) 4月 種まき 中旬～下旬 草刈り 耕運 施肥 5月 苗植え付け 種まき 草刈り・畝作り 水田のための用水路清掃 4～6月 種まき ニンニク収穫 苗植え(サツマイモ) 草刈り 6月 田植え (田植え体験)		
一般募集の有無	有(定員未定)		
参加費の有無	有(参加プログラムによる)		
収入見込額(a)	農業体験委託 活動参加費 <計>	60,000 円 80,000 円 140,000 円	@500 円×160 人
支出見込額(b)	購入費 借地料 燃料代ほか <計>	80,000 円 30,000 円 30,000 円 140,000 円	種苗 30,000 円、肥料 10,000 円、資材 40,000 円 地主 3 名へのお礼 ガソリン・オイル代 20,000 円、雑費 10,000 円
収支見込額(a-b)	0 円		
備考			
作成年月日	2023 年 8 月 8 日	作成者名	中川 樺

■NORA 第 24 期プロジェクト計画書(2023 年 7 月～2024 年 6 月)

プロジェクト名	NORA 野菜市		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)			
目的 (箇条書きで記入)	・交流できる神奈川県内の生産者を中心に、その作物の利用を広げる。 ・身近な神奈川で生産できる作物を知らせる。 ・全国の有機農業・自然農法に挑む若い生産者を知らせ支援につなげる。 ・50 年後の日本列島に暮らす人々のために、今、何が必要か、何ができるか、 多くの人々と一緒に考えて行動したい。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	三好が体調を崩し従来の野菜市の再開は望めません。新しい取り組みを多くの皆さんと 構築していきたいと考えます。 交流できる生産者の農産物の提供を通して情報発信と、人々の交流の場、そして、事業 継承をできる体制を目指したい。		
内容	三好の 36 年間の経験・あえて使ってこなかったノウハウに、若い世代の生産・物流の事業 化した取り組みにも学び、特に若い有機・自然農法生産者との関係づくりを目指したい。		
日時	再構築する中で、大和ビルともご相談させていただきたい。		
場所	再構築する中で、大和ビルともご相談させていただきたい。		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	体調の回復とも合わせ 2023 年中に一定のめどがたてられるように目指します。		
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考(他団体との連携 等を適当に記入)	「神奈川・緑の劇場」から、はまどま運営費として年間 30 万円の寄付は当面中止させて下 さい。		
作成年月日	2023年 8 月 8 日	作成者名	三好豊

■NORA 第 24 期プロジェクト計画書(2023 年 7 月～2024 年 6 月)

プロジェクト名	もったいないから竹細工		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	下山康博		
スタッフ (リーダーを除く)	アドバイザー:小田切一郎・小林準治・三宅健也 アシスタント:清水富紀雄・田下泰人・中條真樹子		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none">・ 竹林整備で排出された竹材を有効活用する・ 竹材から竹ひごを製作し、竹籠などの竹細工を作る・ 竹材の価値を見出すことで、竹林整備への人員を誘う・ 会員を誘致し、会費収入を増やす		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none">・ 新しいアドバイザーの育成&増員を考える・ 次世代を担うマネージャーの発掘・ 自主練習日の継続(キャンセル待ち対策)		
内容	竹かご教室:四海波かご作りのワークショップに特化し、修了後は工房作業への参加を促す 竹細工 工房:竹ひご作りの練習や竹かご製作、カトラリー作り等 WS を行う		
日時	毎月第 4 土曜日 (竹かご教室) 13:00～17:00 毎月第 1 水曜・第 2 土曜・第 3 木曜・第 4 月曜(工房作業) 9:30～12:00/13:00～16:30		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	有: 定員 12 名 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有: @1,000～3,000 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 216,000(竹かご教室) 1,440,000(竹細工工房) 会費収入 279,000 収入計 1,935,000	@3,000×6 人×12 回 @3,000×10 人×4 回/月×12 回 ※ 参加人数は平均値 ※ 会費収入は昨年度比	
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	はまどま使用料 165,600 はまどま家賃補填 279,000 経 費 1,490,400 支出計 1,935,000		
収支見込額(a-b)	0		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2022 年 8 月 7 日	作成者名	下山康博

■NORA 第 24 期プロジェクト計画書(2023 年 7 月～2024 年 6 月)

プロジェクト名	はぶすば ラボ		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三浦 まきこ		
スタッフ (リーダーを除く)	勝野真美		
目的 (箇条書きで記入)	・免疫力、自然治癒力を高めるメディカルハーブ及び植物の力を利用して人の体や心をケアするフィットセラピーの「研究・学び」の場を提供する。 ・参加者が知恵や知識を持ち寄り、みんなで楽しめるコミュニティづくりを目指す。		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	・活動を通じてハーブやスパイスについての知識・理解を深め、暮らしの様々な場面で幅広く役立てる。		
内容	はまどまにてハーブ・スパイス研究会を開催している。 参加者が為になる情報を共有し、互いのスキルアップを図っている。		
日時	活動日時: 日曜日 10:00～12:00 (但し 冬季・GW はお休み)		
場所	はまどま		
年間スケジュール	2023/7/23、8/27、9/24、10/29、11/26、2023/2/25、3/24、4/28、6/23		
一般募集の有無	有 (定員未定)		
参加費の有無	有 (参加プログラムによる)		
収入見込額(a)	参加費 <計>	126,000 円	@3,500 円×4 人×9 回
支出見込額(b)	はまどま運営費 業務委託費 <計>	18,000 円 108,000 円 126,000 円	
収支見込額 (a-b)	0 円		
備考 (他団体との連携等を適当に記入)			
作成年月日	2023 年 8 月 6 日	作成者名	三浦 まきこ

■NORA 第 24 期プロジェクト計画書(2023 年 7 月～2024 年 6 月)

プロジェクト名	はまどまで土間仕事		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	矢野真美		
目的	自分の手から生まれるものはすべて美味しい。自分で選んで、自分で手を入れて、自分の心を全力で込めて作り出すものすばらしさを、みんなで味わう場。		
目標	・四季が美味しくしてくれるものを全力で見つけて、共有する。 ・美味しいものを自分で作る喜びを知る。手間とは食いしん坊が大好きな「愛」。その手間すらも、美味しいを体感するために積極的にやっていく。美味しいと、幸せになれるという感覚を体感する。		
内容	神奈川産の素材を積極的に使って、普段の生活にガチに取り入れられるエッセンスを惜しげもなく伝えます。		
日時	季節ごとのタイミングで、2～3 か月に1度を予定。		
場所	はまどま		
年間スケジュール	10 月から開催予定		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a)	参加費 <計>	105,000 円 105,000 円	@3,500 円×5×6 回 (3,000～5,000 円)
支出見込額(b)	消耗品費 はまどま運営費 <計>	84,000 円 21,000 円 105,000 円	@500 円×7×6 回
収支見込額(a-b)	0 円		
備考			
作成年月日	2023 年 8 月 8 日	作成者名	矢野真美

■NORA 第 24 期プロジェクト計画書(2023 年 7 月～2024 年 6 月)

プロジェクト名	『食べもの通信』読者会		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	伊藤洋子		
目的 (箇条書きで記入)	月刊情報誌『食べもの通信』の定期購読をすすめつつ、少しずつ信頼できる新しい情報にふれ、学び合う場をつくる。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	リモート開催が定着している。「はまどま」での参加と、リモート参加を呼び掛けている。		
内容	伊藤洋子さんの zoom ホストと司会進行。最新号から参加者が気になった記事を発表し全員で感想、経験、意見などを出し合う。Zoom 流の発言の仕方、映像を使ったコミュニケーションにも慣れて、回を重ねるごとに楽しい時間となっている。		
日時	定例日・毎月第 2 月曜日 ※祝日等の場合は、参加者で相談する。		
場所	はまどまとリモート		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	順調ならば毎月開催。年間 12 回。内容によっては、特別開催も積極的に企画したい。		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	1回 500 円・6 回分前納 2,000 円(回数券方式) 参加費 24,000 円(6 名×4,000 円)		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	Zoom ホスト手数料 2,000 円 はまどま運営協力費 20,000 円 事務費(資料作成コピー代・ノート代等) 2,000 円		
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)	『食べもの通信』発行・家庭栄養研究会はじめ、「食べもの通信」を通してつながることがで きる団体。		
作成年月日	2023 年 8 月 8 日	作成者名	三好 豊

■NORA 第 24 期プロジェクト計画書(2023 年 7 月～2024 年 6 月)

プロジェクト名	からだにやさしい季節の薬膳		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	内倉和子		
スタッフ(リーダーを除く)	矢野真美		
目的	季節に応じた食材で、一般的に手に入る身近な食材をメインに、生薬(薬効のある自然物)も少々取り入れ、家でも作れる献立を作る。応用できるメニューも紹介。		
目標	・できる限り神奈川県、神奈川県から近い地域の食材を使う。 ・一緒に学び、作り、知り、食べ、日々の生活の中から美味しく楽しく養生する知恵を身に付ける。はまどままでの調理、試食を基本に。		
内容	・内倉会員が学ぶ薬膳料理教室のメニューを基に、神奈川野菜と旬の素材を使って献立を作成、調理、試食する。		
日時	四季に応じた日曜日 10:00～14:00		
場所	はまどま		
年間スケジュール	2023 年 10 月(冬準備の薬膳深秋ごはん) 12 月(薬膳でクリスマスメニュー) 2024 年 3 月(春を祝う、薬膳春ごはん) 6 月(梅雨のだるさを吹き飛ばす薬膳雨季ごはん)		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	3,000 円(会員 2,500 円) 未就学児対象のハーフサイズ：1,000 円 ※前売り回数券 5 回分(有効期限 1 年)：15,000 円		
収入見込額(a)	参加費 <計>	60,000 円 60,000 円	@3,000 円×5×4 回
支出見込額(b)	消耗品費 はまどま運営費 <計>	50,000 円 10,000 円 60,000 円	@500 円×5×4 回
収支見込額(a-b)	0 円		
備考			
作成年月日	2023 年 8 月 8 日	作成者名	矢野真美